



ねみずやすひろ
根水康博 議員

6次産業化

安定的所得確保の対策を

〔答〕 国の計画認定に向け支援

問 所得向上、雇用創出が目的であるが、状況は。

町長 付加価値を生み出す施策として、講習会の開催や6次産業化法による国の計画認定に向けた取り組みなどで支援していく。

問 総合戦略を通し、6次産業化をどのように創り上げていくのか。



6次産業化に取り組んでいます

農林課長 地産地消の考えの中で取り組まれている農家の安全意識は非常に高いと思われる。

問 認定は6団体あるが、所得の中身までは把握していない。農産物を加工するにあたり、安心・安全など、消費者に信頼される食品の供給が必要ではないか。

農林課長 認定は6団体あるが、所得の中身までは把握していない。



かかりつけ医をもちましょう

町長 一人でも多くの町民が元気な状態を維持し、住み慣れた地域で生活し続けられる

問 高齢者人口が増え、年金や医療保障が若い世代に重くのしかかる事態と予測されるが、対応を考えているのか。

問 現在の紫波診療センターは総合病院の機能を持ち合せている施設である。「住みたい町」として安心して入院できる施設は必

問 高齢者人口が増え、年金や医療保障が若い世代に重くのしかかる事態と予測されるが、対応を考えているのか。

要である。活用はできないか。

長寿健康課長 町内医療施設は32院。初期対応は十分と思われる。かかりつけ医を選び、状況に応じて紹介状をもらい高度医療を受ける。そのかたちを広く勧めていきたい。

地域医療

高齢化に向け対応は

〔答〕 「地域包括ケアシステム」を構築

●平成27年度紫波町一般会計補正予算（第6号）

項 目	金 額
【主な歳入】	
臨時福祉給付金給付事業費補助金	1億2000万円
地方公共団体情報セキュリティ強化対策補助金	765万円
個人番号カード交付事業補助金	564万円
保育対策総合支援事業費補助金	150万円
【主な歳出】	
年金生活者等支援臨時福祉給付金	1億2000万円
町道等除雪業務委託料	4043万円
情報セキュリティ強化対策業務委託料	1530万円
個人番号カード関連事務委任交付金	564万円
保育所等業務効率化推進事業費補助金	200万円
【合 計】	
補 正 額	1億9953万円
合 計	142億2406万円

補正予算

定例会2月会議が2月12日に開催されました。町長から提出された案件は4件で、全て原案のとおり可決しました。

定例会
2月会議

マイナンバー
補正予算に賛否

- Q** 個人番号カードの情報漏れはないか。
A 情報セキュリティ関係の万全対策は、国・県・市町村の中で、役割を整えている。
- Q** 子ども・子育てシステム改修の内容は。
A 28年度から第3以降の保育料軽減策が変更。
- Q** 町道除雪業務委託料の内容は。
A 地元業者23社、全台数は65台ほどあるが、半月出勤がない場合、機械点検整備費として加算する。

賛成 北條喜久男議員
個人番号カードは条例も賛成多数で可決し、セキュリティも慎重にすることでスタートしている。一般会計が否定されると、多大な損失になることから賛成。

反対 細川恵一議員
否定ではなく、マイナンバーは課題が山積しており、関連予算が入っているので反対。

討 論

条 例

【紫波町温泉保養施設（ききよう荘）条例の一部を改正する条例】

住民基本台帳カードの提示による入浴料割引の廃止をするもの（平成28年7月1日）。



【紫波町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例】
国の例に準じ給料月額・勤勉手当を改正し、派遣研修に対し地域手当を支給するもの。

2月会議で賛否が分かれた議案

議 案 名	戸塚美穂	佐々木純子	佐々木賢一	阿部美佳子	熊谷育子	根水康博	細川久	村上秀紀	及川ひとみ	作山秀一	藤原修一	箱崎勝之	藤原栄孝	鷹木嘉孝	細川恵一	藤原恵子	北條喜久男	武田平八	賛成	反対	採決結果
平成27年度紫波町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	—	15	2	可決

※武田平八議員は、議長のため採決に加わっていません。